

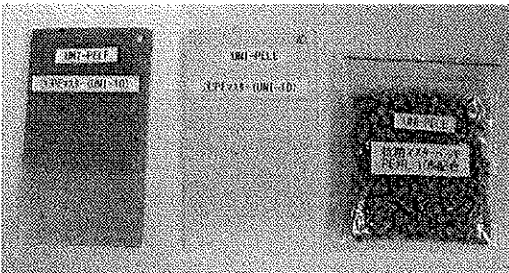
# 仏に抗菌樹脂ペレット

## ユニオン産業が供給

### 食品包装フィルムPE向け提携

【横浜】ユニオン産業（川崎市中原区、森川真彦社長、044・755・1107）は、ワイパック（WIPACK、フィンランド）のフランス支社（ピンセント・ポツオ支社長）と、食品包装用フィルム向け抗菌性ポリエチレン（PE）樹脂に関し、業務提携を結んだ。竹粉などを主成分にした有機物を使うことで、高い抗菌性を持つ。2013年5月までに製品化し、抗菌樹脂ペレットの供給を始める。

ユニオン産業は自社製の抗菌樹脂「ユニペレ」を配合したフィルム用の抗菌ペレット「マスターバッチ」を開発した。ワイパック仏支社は北フラ



「ユニペレ」を使って作った抗菌性ポリエチレン

▲……性がないという。このため、ワイパックは抗菌性を重要視し、同社のユニペレに注目した。ユニペレは竹粉や麦の皮などを主成分にした有機物で、燃焼しても有害物質を抑え、高い抗菌性を持つのが特徴。ユニオン産業はこれまで、ポリプロピレンと組み合わせて抗

菌プラスチックなどを生産してきたが、PEとの組み合わせは初めて。厚さ0.03ミリのフィルムに200ミリのユニペレを加えると竹の繊維がフィルム表面に出てざらつき感が生じ、透明度が失われる。そこで、ユニペレをさらに細かく粉砕し微細化。PEに10%

のマスターバッチを加えた素材をカケンテストセンター（大阪市西区）で2回抗菌検査したところ、24時間後、大腸菌、黄色ブドウ球菌ともほとんど繁殖していなかった。在日仏大使館が北フランス地方投資促進開発局を通して同社の素材を自国に紹介、ワイパックはじめ家庭用品、アクセサリメーカーなど7社から照会があったが、同社はとくに積極的だったワイパックと提携した。